

山井綱雄(やまいつなお)



シテ方金春(こんばる)流能楽師
重要無形文化財(総合指定)保持者
公益社団法人「能楽協会」理事
公益社団法人「金春円満井会」常務理事
山井綱雄能の会「山井綱雄之會」主宰
能アマチュア愛好家の会「春綱会」主宰
平成26年度 文化庁文化交流使(長期派遣型)
東日本大震災復興支援能楽の会「息吹の会」同人
NHK文化センター青山本校講師
JR東日本「大人の休日倶楽部」講師
藤嶺学園藤沢中学校非常勤講師

能楽金春流は、豊臣秀吉も 絶大に庇護をした、1400年の歴史を持つ能楽最古の流派。
「能楽は世界最高の芸術である」との信念の下、能楽普及と「日本の心」の啓蒙に奔走している。日本国内での能楽公演、初心者へのための能ワークショップ・能講演、若者への普及学校公演を多数開催。また海外公演や、他ジャンル芸術家との共演・創作作品多数。能楽の新たな可能性にも挑む。

【略 歴】

1973年(昭和48)神奈川県横浜市出身 國學院大學文学部卒
金春流 79世宗家故金春信高、80世宗家金春安明、富山禮子に師事 祖父は金春流能楽師
梅村平史朗

5才「柏崎」にて初舞台、12才「経政」にて初シテ。以降、「乱」、「石橋」、「望月」、「道成寺」(平成17)、「翁」(平成22)、「正尊」、「安宅」(平成24)を披演

2012年 「外国特派員協会」にて能楽師初の講演会開催

2017年 宮沢賢治の童話を元にした新作能「光の素足」を金春流として初演

2017年 国立能楽堂にて金春流・金剛流の異流能「二人静」主催

2018年 金春流として約400年振りとなる能「夕顔」の復曲初演

同年 芸歴40周年記念公演 金春流・観世流異流能「蟬丸」が第73回文化庁芸術祭参加公演となる

【おもな海外活動】

2002,2005,2013年 ニューヨーク・ロサンゼルス含めたアメリカ公演

2008年 イギリス・スコットランドでの「エディンバラ・フェスティバル・FRINGE」にて現代演劇俳優として参加

2012年 パリでの日本文化博覧会参加

2012～2014年 カナダ・在バンクーバー日本国総領事招聘の文化使節団長として能シテ公演

2014年 文化庁文化交流使就任 派遣国フランス、アメリカ、カナダにて普及公演

2017年 カナダ・バンクーバーにて、創作能オペラ「Kayoi Komachi」世界初演 に主演

2018年 台湾・台北、台中、台南にて、能ワークショップ

【おもな他ジャンルとのコラボレーション】

2006年 「能舞エヴァンゲリオン」発表

2014年 ビルボードライブ東京にて公演

ジャズピアニスト木原健太郎とのユニット「ENISHI～能 ×piano」にて公演・作品多数

2013年 能舞音楽劇「義経記」を上妻宏光、デーモン閣下と初演。以来、全国のべ20回以上を数える公演を続けている。

◎過去の主な競演コラボレーション アーティスト (順不同 敬称略)

聖飢魔II(ロックバンド)、デーモン閣下(悪魔)、押尾コータロー(ギタリスト)、陰陽座(ロックバンド)、水樹奈々(声優歌手)、小林幸子(歌手)、木原健太郎(ジャズピアニスト)、ZEEBRA(ヒップホップ)、真木蔵人(ヒップホップ俳優)、上妻宏光(三味線プレイヤー)、山中信人(津軽三味線)、中井智弥(二十五絃箏)、三橋貴風(尺八)、藤原道山(尺八)、東儀秀樹(雅楽)、友吉鶴心(琵琶)、岩佐鶴丈(琵琶)、大峯香風(琵琶)、海みのり(二胡)、一噌幸弘(能管笛)、五嶋龍(ヴァイオリン)、KOBUDO(尺八・チェロ・ピアノ)、クリスティーン・ワレフスカ(チェロ)、秋津智承(チェロ)、小

森邦彦(マリンバ)、大塚直哉(チェンバロ)、アラン・ウエスト(大和絵師)、菱川誠一(クリエイティブディレクター)、上野樹里(女優)、岸谷五朗(俳優)、中村玉緒(女優)、june(ポールダンサー)、新日本フィルハーモニー交響楽団、劇団 夢現舎、演劇ユニット金の蜥蜴

【おもなメディア出演】

2011年 NHK 総合テレビ 大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」能楽指導

2016年 NHK 総合テレビ 大河ドラマ「真田丸」能楽指導、能場面指導及び能シテ出演

2015年 TV 朝日「題名のない音楽会」にて J.S.バッハ作曲「シャコンヌ」で能舞